OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』第7号 刊行にあたって
Author(s)	
Citation	大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究. 2009, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22199
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

『大阪大学日本語日本文化教育センター　授業研究』

第７号 刊行にあたって

本センターは1954年に留学生別科として設立され、1991年に留学生日本語教育センターへと改組、そして、予備教育開始50周年と本学の国立大学法人化を契機として、2005年4月に教育と研究のいっそうの充実を目指し、日本語日本文化教育センターへと改称いたしました。

これまで、研究留学生、学部留学生、教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生などさまざまな留学生を多数受け入れ、その間、留学生の多様なニーズに応えられるよう教育カリキュラムの工夫・改善を重ねてまいりました。よりよいカリキュラムの開発には、日頃の教育の中から生み出されてきた方法論や教材論を共有し、蓄積することが肝要であると考え、本センターでは2003年3月に、専任教員、非常勤講師がともに自由に日頃の成果を発表できる場として本誌の創刊号を刊行いたしました。また、このほかに、教育の質の向上を目指して、さまざまなFD研修活動を行っています。

昨年度10月に大阪外国語大学は大阪大学と統合いたしました。統合後一年を経る間、本センターを取り巻く状況も、さまざまな面で、大きく変化しつつあります。しかしどのような変化があったとしても、本センターの根幹が教育と研究とにあることには、いささかの揺らぎもありません。そのような状況の中にあって、本年度も、昨年度に引き続き、『授業研究』の最新号を刊行できる運びとなりました。教育と研究のさらなる充実と発展を目指し、今後もいっそう研鑽を積んでまいりたいと存じますので、なにとぞご高覧賜りまして、ご批判、ご教示を頂戴できましたら幸甚に存じます。

2009年３月

『大阪大学日本語日本文化教育センター　授業研究』
編集委員会